





笛吹市の金川左岸にそびえる大栃山は、長いすそを引いた端正な姿で別名黒駒富士とも呼ばれる。春には桃を前景にした風景が楽しめる。大栃山へは神座山川に沿った林道で檜峯(ひみね)神社へ。ここから西の鳶巣(とびす)峠に出て右へ上る。ヒノキやアカマツ、雑木などに囲まれた尾根道を行くと、山頂に出る。ミズナラなどに囲まれた山頂は、眼下に甲府盆地が広がり、その先に奥秩父から南アルプスの山々が並んでいる。桃の花の時期は、ピンクのじゅうたんを敷き詰めたような見事な景色が広がる。そこから同じ道を鳶巣峠まで戻り、急坂が続く尾根道を行き神座山を目指す。神座山の頂上からは釈迦ヶ岳のほか、南には富士山がよく見える。帰りは釈迦ヶ岳に向かい途中の尾根道を下り檜峯神社へ出る。





